

令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

1 派遣の経緯

1月5日、13時に（公社）日本水道協会九州地方支部から本市(県支部長)へ給水車1台の派遣要請。

2 本市の派遣状況

- 【第1班】 1月 6日（土） 上下水道局職員6名、給水車（3t）1台、作業車1台を派遣(19:10発 カーフェリー)
1月 7日（日） 金沢市企業局に到着。給水場所等について確認
1月 8日（月）～10日（水） 石川県能登町（崎山山村開発センター前 ↔ 矢波浄水場）で応急給水活動を実施
1月12日（金） 帰庁
- 【第2班】 1月 9日（火） 第2班（上下水道局職員6名）を派遣
1月10日（水） 金沢市企業局に到着。第1班から引継ぎを受ける
1月11日（木）～13日（土） 石川県能登町（崎山山村開発センター前 ↔ 矢波浄水場）で応急給水活動を実施
※11日より「崎山山村開発センター前」から「能都体育館前」へ表記変更
1月15日（月） 第2班帰庁
- 【第3班】 1月12日（金） 第3班（上下水道局職員6名）を派遣
- 【第4班】 1月15日（月） 第4班（上下水道局職員4名）を派遣

【参考】

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年1月13日(土) 7時00分時点
国土交通省 道路局

- 1/4から国道249号の緊急復旧に着手。24時間体制を継続し、残りの国道249号の復旧に向け、(一社)日建建設により緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多量破壊されているため、自衛隊と連携し、内陸側・高層の四方からくしの首状の緊急復旧も進めており、既に7方向で道路を確保

・緊急復旧の進捗率

	1/7	現在
半島内の 主要な幹線道路	約8割 →	約8割
78国道249号 沿岸部第1	約2割 →	約5割
沿岸部への到達 第1	6方向 →	7方向

※1: 能登半島内(能登町)内陸側
※2: 内陸側・高層の四方

・孤立地区数の推移

1月5日8時	33地区
1月12日16時	17地区

※内陸側(能登町)内陸側
※孤立地区に緊急復旧が完了しているものも含む



国道38号被災状況



国道249号作業状況



国道249号法面崩落



国道249号被災状況



国道249号被災状況

- 凡例
- 国交省対応(進行可能)
 - 県対応(進行可能、この線でも作業実施)
 - 自衛隊対応(進行可能)
 - ✕: 被災規模 大
 - ✖: 被災規模 小~中程度
 - ⊗: 完了(緊急復旧含む)
 - : 孤立集落(内陸側被災済)
 - : 孤立集落(未被災)
 - ★: 復旧業者到達地点
 - : 沿岸部への到達点

※北陸地方整備局 HPより

令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

3 石川県の断水状況

内閣府HP「令和6年能登半島地震による被害状況について（令和6年1月11日7:45現在）」参照

市町村名	断水戸数（戸）		断水期間
	最大	現在	
七尾市	約 21,800	約 20,600	1/1～
輪島市	約 10,000	約 10,000	1/1～
珠洲市	約 4,800	約 4,800	1/1～
志賀町	約 8,800	約 8,800	1/1～
穴水町	約 3,200	約 3,200	1/1～
能登町	約 6,200	約 6,100	1/1～
羽咋市	約 7,700	約 2,650	1/1～
かほく市	約 9,800	約 280	1/1～
内灘町	約 12,000	約 950	1/1～
中能登町	約 7,000	約 1,500	1/1～
金沢市	約 1,000	27	1/1～
能美市	約 30	2	1/1～
計	約 92,330	約 58,909	

※浄水施設、管路の被災状況は不明。

令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

4 応急給水支援場所

石川県能登町

現在人口 : 15,449人
現在給水人口 : 14,214人
浄水場 : 4ヶ所 (表流水、ダム、伏流水)
配水池 : 57ヶ所
管路 : 397.5km
能力 : 13,877m³/日

被害の状況 (令和6年1月14日14時現在)

人的被害			住家被害		
死者 (うち、災害関連死)	負傷者		全壊	半壊	一部破損
	重傷者	軽傷			
6 (4)	10	25	352	多数	多数



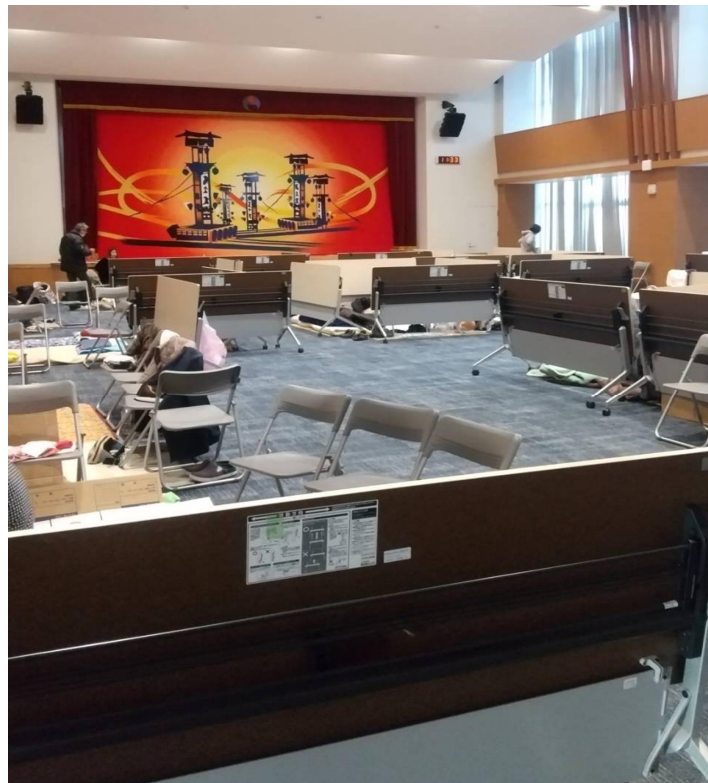
令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

5-1 現地の被害状況



能登町役場

能登町役場は**令和元年に建設**された新庁舎のため災害の影響はあまりなく、被災後も行政機能を果たしている



能登町役場内 大集会ホール

令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

5-2 現地の被害状況



国道249号線（能登町）



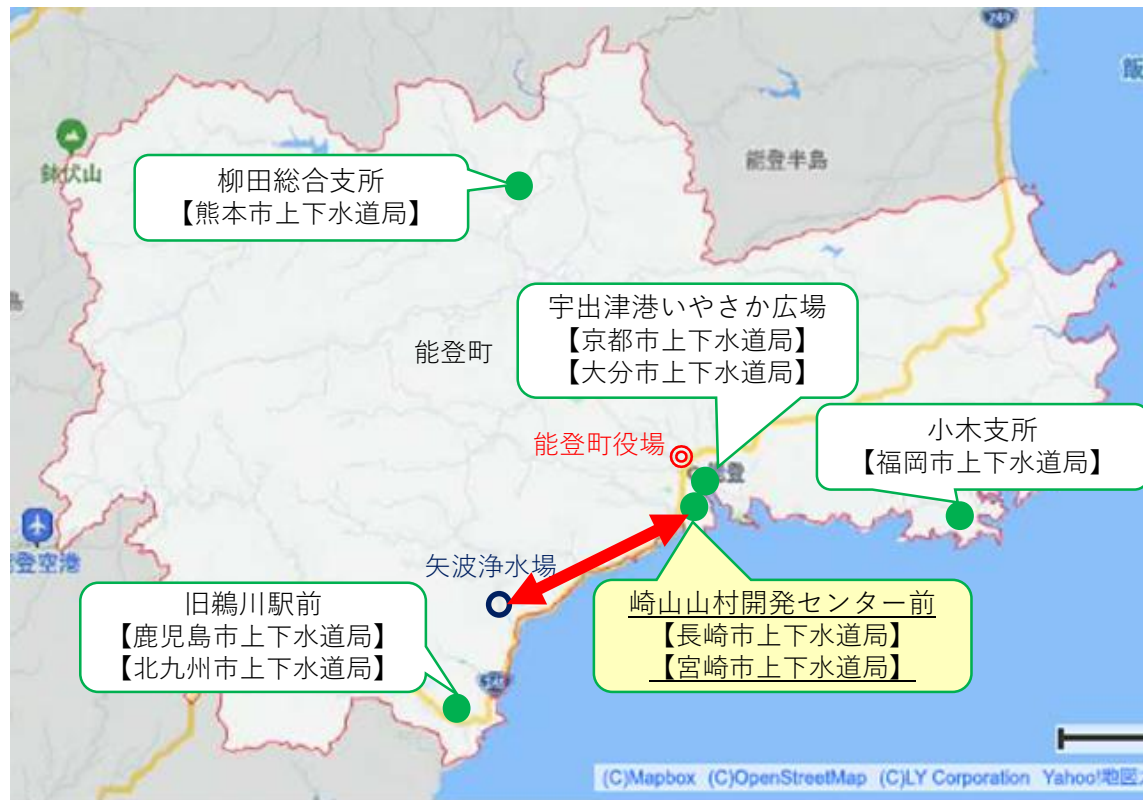
能登町中心部

能登町でも一部で被害の大きな箇所あり。
被災住宅が点在している状況（古い木造住宅の可能性）
町内の道路はあちこちで、住宅崩れによる道路閉塞や、路面割れ、段差が発生。
町内への主要アクセス道路である、国道249号も左の写真のように、あちこちで被災し片側通行となっている。（渋滞の原因）
電気は通っているが、断水が続いているため、生活に支障を来している。

令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

6 応急給水支援状況（九州地方支部全体）

給水場所	担当	給水車
宇出津港 いやさか広場	京都市上下水道局 大分市上下水道局	2.8トン 1台 3トン 1台
崎山山村 開発センター前	長崎市上下水道局 宮崎市上下水道局	2トン 1台 3トン 1台
柳田総合支所	熊本市上下水道局	2トン 2台
旧鷺川駅前	鹿児島市上下水道局 北九州市上下水道局	4トン 1台 3トン 1台
内浦総合支所	宮城県亘理町	2.8トン 1台
小木支所	福岡市上下水道局	1.65トン 2台
上町公民館	自衛隊 1	1トン 1台
三波公民館	自衛隊 2	1トン 1台
瑞穂公民館	自衛隊 3	1トン 1台
高倉公民館	自衛隊 4	1トン 1台
白丸公民館	自衛隊 5	1トン 1台



令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

7 応急給水活動の様子 その1



【活動時間】 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

【活動内容】 被災者が持参されたペットボトル容器や給水袋へ給水を行った。

(矢波浄水場 ↔ 崎山山村開発センター前 1日約2~3往復)

令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

8 応急給水活動の様子 その2



浄水場は稼働しているが、送水管 (浄水場→配水池)が損傷している。

矢波浄水場 ~ 山村開発センター
6.7km (11分)

道路は海岸沿いに山が迫っていたが、崖崩れはなく通行に支障はなかった。

令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

9 派遣スケジュール

1月 6日～1月12日	第1班	【給水活動：1月 8日～1月10日】	(宮崎市上下水道局 6名)	
1月 9日～1月15日	第2班	【給水活動：1月11日～1月13日】	(宮崎市上下水道局 6名)	
1月12日～1月18日	第3班	【給水活動：1月14日～1月16日】	(宮崎市上下水道局 6名)	
1月15日～1月21日	第4班	【給水活動：1月17日～1月19日】	(宮崎市上下水道局 4名)	※ 4名体制に縮小
1月18日～1月24日	第5班	【給水活動：1月20日～1月22日】	(宮崎市上下水道局 4名)	
1月21日～1月27日	第6班	【給水活動：1月23日～1月25日】	(宮崎市上下水道局 4名)	
1月24日～1月30日	第7班	【給水活動：1月26日～1月28日】	(宮崎市上下水道局 4名)	
1月27日～2月 2日	第8班	【給水活動：1月29日～1月31日】	(宮崎市上下水道局 4名)	

※ 2月以降については、県内他事業体と調整中（都城市、延岡市、日南市など）

10 下水道に関する動き

石川県内の下水道施設の早期復旧のため、石川県からの要請により、周辺及び大都市の自治体を中心に下水道担当職員を派遣する動きが見られる。

【九州管内の応援派遣状況】

福岡市 : 職員4名、車両1台

北九州市 : 職員4名、車両2台

熊本市 : 職員10名、車両4台

※ 宮崎県内の動きは今のところなし

令和6年1月能登半島地震に伴う被災地での応急給水活動について

1.1 派遣職員の給水活動外の状況

① 基本スケジュール

朝5時ホテル発、3時間半（片道約130km）にて8時半能登町役場着

9時から17時給水活動

終了後金沢市にて充水と給油をして**22時前にホテル着**

② 食事

朝：金沢市内の**コンビニ**にて調達した**おにぎり**等を車中で摂食

昼：給水ポイントにて、**持参したカセットコンロ**で沸かしたお湯で**カップ麺**等を摂食

晩：**コンビニ**にて調達した**おにぎり**等をホテル到着後に摂食

③ 睡眠時間

実質4時間（能登町から22時前にホテル着、5時にホテル発）

（参考）役場に泊まっている市の情報（京都市、長崎市、熊本市）

役場の廊下等に寝袋で就寝、睡眠時間は確保できるが、**風呂トイレが不便**

21時に役場の暖房が止まるため、寒さが厳しいとの話もあった

④ その他

・**除雪のための交通規制**が実施されると行動計画が読めない。

・給水ポイント付近の雪かきが必要

・3時間半の運転中、路面の段差や片側通行などで運転に苦労

・寒さへの対応（ホッカイロ等）

・**インフルエンザ等が蔓延**しているとの話があり体調管理に配慮。また避難所には立ち入っていない。